

歓送迎会に関するお願い

○ この春の歓送迎会については、感染防止対策に加え、特に以下の点を守っていただくようお願いいたします。

◆ 宴会を行う場合は、以下の形式で行いましょう

- ・ 着座（立食・席移動は控える）
- ・ お酌はN G
- ・ 定員50%以下（座席も離して）
- ・ 短時間で行う
- ・ 人数を抑える

◆ 店舗は県の「新型コロナお知らせシステム」の導入をお願いいたします

【当日】 **体調が悪いときや回復直後は、熱がなくても参加不可を徹底！**

ささいな症状でもリスクを考えて参加しないようお願いいたします

【実施後】 **体調が悪化したら受診・検査相談を徹底！**

体調悪化時は県受診・相談センターに連絡をお願いいたします

【県受診・相談センター】 025-256-8275（毎日24時間対応）

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

